

図書館と県民のつどい埼玉 2014 —みんなが「図書館」でつながる日—



このイベントは、県民の皆様が図書館や読書に対する関心をより深めていただくよう開催するもので、今年で8回目となります。同時開催する《こども読書活動交流集会》は、家庭・地域・学校・図書館でこどもの読書に関わる人たちの「つながり」と「学び」の場です。ふるってご参加ください。

★★★講演会・講座のご案内★★★

午前 (10:00~11:45)

記念講演 **フィクションの向こう側 —小説家という仕事について** 辻村深月氏 (作家)

午後 (13:30~15:30)

こども読書活動交流集会 ◆**こどもと詩の講座** [定員 40] こどもと詩の世界を楽しもう! 白根厚子氏 (詩人・児童文学者)
◆**わらべうた講座** [定員 30] わらべうたは豊かな言葉の世界 石川道子氏 (わらべうた・絵本研究家)
◆**科学読み物講座** [定員 35] 身近な自然は、ふしぎがいっぱい! 高柳芳恵氏 (『どんぐりの穴のひみつ』著者)

ピリオパトル (知的書評合戦) (中学生・高校生参加) ★★NEW★★

全日 大学・高校・公共図書館部会による展示など ◆ブックケア ◆知ってる?高校図書館 ほか

※記念講演、こども読書活動交流集会、ピリオパトル (知的書評合戦) への参加は、事前に申込が必要です。詳細や申込方法などは、チラシや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

平成26年12月14日 (日) 10:00~16:00 桶川市民ホール・さいたま文学館 (JR 高崎線桶川駅徒歩5分)

10/15より受付開始

こども読書活動交流集会の申込は、11/14(金)締切

＜問い合わせ＞ 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-1-22

埼玉県立浦和図書館「つどい」係

電話: 048-829-2821 FAX: 048-829-2979



読み聞かせ・ストーリーテリング★昨年度の派遣先は約20団体です★

初心者向け研修会に講師を派遣します

(読み聞かせボランティア団体のための講師派遣)

絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、

県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。

研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせ

ください。研修会開催の1か月前までに下記までお申し込みください。

お申込み・ご案内: 県立久喜図書館子ども読書推進担当 TEL: 0480(21)2659

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html

編集後記

新しいメンバーを待っている団体とその活動に興味がある方との出会いに「Shien」が役立つ事があれば嬉しく思います。そして私たちも一緒に活動してくれる方、歓迎です。

(子ども読書支援ボランティアO)

編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
TEL 0480(21)2659 (代) 彩の国
FAX 0480(21)2791 埼玉県

子ども読書支援情報誌

携帯用QRコード



Shien 第18号

こどもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成26年9月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

《目次》

- いつでも・どこでも.....1
- 連載:おはなし・読み聞かせ実践講座⑱.....1
- 連載:子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑱.....2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から.....2
- ブックリスト担当から.....3
- インターネットからの情報収集担当から.....3
- 図書館と県民のつどい埼玉2014.....4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣.....4

いつでも・どこでも

「カリヨン文庫」は、さいたま市にある県立小児医療センターに入院しているこども達に、本の貸出、おはなし会を行っているボランティア団体です。午前中の病棟は床上学習があるため、5歳までのこどもを中心に、定番のこぼあそび、わらべうた、絵本などをゆっくりと楽しんでいます。午後は幼児、小・中学生、お母さんへのおはなし会。ブックトラック2台での貸出も盛況です。

「カリヨン文庫だ!」と瞳をキラキラさせて待っていてくれるこども達。そんなこども達と接して私たちの方が励まされています。28年間続けてきてよかったなあと思います。

しかし、ボランティアが少ないために、プレイルームに出てこれないこどもに伝えることができなかつたり、

下記の日程で月1回御都合のつく方はご連絡ください。

第1・2・3・4木曜日 ①AM 10:20~12:00

②PM 1:15~3:00

第2・4火曜日 ③PM 2:00~5:00

【連絡先】 篠塚 048-286-5202 (月~金 18時以降)

塩谷 048-977-7818

ボランティアが年を重ね、ブックトラックを押して院内を回るのがきつくなつたりと、思うように活動できないこともあります。「いつでも・どこでも」こども達が本と出会う機会をもてるよう、この活動を続けるため、一人でも多くの方に参加してほしいと願っています。

東海陽子 (カリヨン文庫)

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑱

読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。

今回は、『赤ちゃんむけのおはなし会』についてご紹介します。

背を向けてしまつたり、泣いてしまつたり、動き回つたり、「赤ちゃんむけのおはなし会」はとても賑やか。でも、絵本に興味がないように見えても、赤ちゃんはちゃんと聞いています。好きな言葉が聞こえたり、好きなわらべうたが始まると、こっちを向いたり戻ってきたりして一緒に楽しむことができるんです。

読み聞かせで気をつける事は?

はっきりと、聞きやすい声で、ゆっくりと読む。文章が短いので、「間」を大切にし、絵をじっくり見せてからページをめくる。めくった後は、一呼吸おいてから読む。

赤ちゃんも楽しめる絵本とは?

- ①線や形がはっきりとしていて遠目が利くもの。コントラストのはっきりとした配色や優しい色遣いのもの。
- ②見開き1場面または2場面ですべて完結しているもの。 ③本物そっくりの写実的な絵のもの。
- ④特徴を捉えた単純化された絵のもの。 ⑤リズムカルで心地の良い音や言葉が、くり返し使われているもの。
- ⑥身近なテーマを扱ったもの。

会場作りで気をつける事は?

- ①赤ちゃんの手の届く所に物を置かない。入り込んだり、登つたりしそうな椅子や机等は片付けておく。
 - ②読み手の背後には、赤ちゃんの興味を引くような物を置いたり、貼つたりしない。出入口は聞き手の後方にする。
- ◆無理にじっとさせたり、絵本を聞かせようとすると、絵本やおはなし会が嫌いになってしまうので、無理強い禁物です。

楽しい雰囲気の中、絵本やわらべうたを通して親子がふれあう温かい時間を共有してみてください。

東野弓枝 (久喜市立中央図書館 司書)

おはなしサークル かにかにこそこそ

子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩

おはなしサークル「かにかにこそこそ」は、平成6年2月に開かれた三芳町立図書館主催「お話の講習会」の受講生を中心に、子ども達に昔話を聞く楽しさを伝えようと同年4月に結成した「語り」のサークル。

今年度で20年目を迎えます。

これまで図書館の行事や町内の保育園、小学校、児童館などで語りながら、聞き手の子ども達と共に「お話」の世界を広げ、語りの奥深さを学んできました。15年ほど前からは、三芳町歴史民俗資料館にある藁ぶきの古民家で、大人向けの「夜語り」も続けています。今では都内や、さらに遠方からお越しの聞き手も増え、子どもに対するのとは違った緊張感で、それぞれの語りに磨きをかける学びの場となっています。また最近では、高齢大学や老人施設、地域の交流会からもお声をかけて頂くようになりました。「お話」には、興味深い類話や、世界各地の不思議で奇想天外なものも多く、大人にとっても面白いと感じる方が増えているのかもしれませんが。

けれども、何といっておはなしを聞くこどもの表情の素晴らしさ！

お話の世界に入りこんで、共に驚き、落胆し、喜び、安堵するその姿を「語り手」となってあなたも一緒に味わいませんか？

「かにかにこそこそ」の定例会は毎月第3水曜、三芳町立中央図書館・会議室にて10時より12時。現在会員は10名ですが、多くの会員が他のサークルにも所属しながら精力的に語っています。

池山房子（おはなしサークル「かにかにこそこそ」）

お知らせ	○「民家で夜語り」 9/20(土) 18:30~20:30 三芳町歴史民俗資料館 旧池上家住宅
	○「大人のためのおはなし会Part2」 11/9(日) 14:00~15:30 【問い合わせ先】三芳町立中央図書館 TEL049-258-6464

きりめき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回は「ビブリオバトル」に関する記事を紹介いたします。

ビブリオバトルは、「公式ルール」に則って、誰でも行うことができます。

複数の発表者が自分のお勧めの一冊を言葉で紹介（5分間）し、その中から

「一番読んでみたくなった本（チャンプ本）」を参加者の投票で決めます。本の粗筋

だけでなく、おすすめの理由や、本の魅力を自分の言葉でいかに伝えるかが勝敗を分けるポイントになるようです。

2013年11月大阪、12月東京でのビブリオバトル高校生大会の記事をご紹介します。

本の魅力 私の言葉で ビブリオバトル高校生大会（読売新聞 2014.3.24 朝刊 31面）

関西大会チャンプ本は、大野夏美さん（東海大付属仰星1年）の『シャーロック・ホームズはなぜ外見だけで人を見抜けるのか？』（斎藤勇著/宝島社）。この本を読むと、何気なくとっている行動に

深層心理が出ていることに驚くと同時に、友だちの気持ちが理解できるようになり、より深く考えてあげられるようになるのではないのでしょうか、と紹介しました。

2015年1月には、「全国高等学校ビブリオバトル2014」が開催されます。

次に、埼玉県立春日部女子高校1年生の取り組みを紹介します。

広がるビブリオバトル おすすめ本をプレゼン→読みたい本を投票

本の魅力の伝え方に苦心（朝日新聞 2014.5.24 朝刊 24面）

チャンプ本に選ばれたのは、高橋砂羽さんの『放課後』（東野圭吾著/講談社）。

埼玉県では県教育局が進める学力向上事業の一環として、県立10校を対象

にビブリオバトルを進めています。若者たちが本と触れ合う機会を増やすのが狙いのようです。

井上（子ども読書支援ボランティア）

記事の原本は
県立久喜図書館
の子ども室で
見られます！
子ども読書関連
新聞記事はウェブ
サイトに掲載中！

使えるブックリスト

ブックリスト担当から

「おすすめ読み聞かせ絵本リスト」追加作業中 Part 2

前回の「低・中学年向けの秋の絵本」に続き、今回は「**高学年・中学生向けの秋の絵本**」を選びました。

選んだ本は15冊。15分のプログラムと、中学生については10分のプログラムも作りました。

高学年

色づく秋を満喫！

- ①『きんいろのとき』
(アルビン・トレッセルト文/ロジャー・デュボアザン絵/
江國香織訳/ほるぷ出版)
- ②『おおいそがし、こいそがし』
(ユン・クピョン文/イ・テス絵/小倉紀蔵訳/黛まどか訳/平凡社)

中学生

- ①『パンプキン』
(ケン・ロビンズ写真・文/千葉茂樹訳/BL出版)
- ②『にぐるまひいて』
(ドナルド・ホールぶん/バーバラ・クーニーエ
/もぎかずこやく/ほるぷ出版)

中学生（10分）

大人も子どもも楽しめます。
大いに想像力を
発揮してみましょう。

- ①『きつねにようぼう』
(長谷川摂子文/片山健絵/福音館書店)
- ②詩「秋の歌（落葉）」（ポール・ヴェルレーヌ作）

秋を楽しんでください。

全リストはココから web トップブックリスト 二橋（子ども読書支援ボランティア）

Nice to meet you!
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ

埼玉県のマスコットコパン

このコーナーでは、私たち3グループの活動の一端を

知っ得情報！

インターネットからの情報収集担当から

＊＊ おすすめウェブサイトの紹介 ＊＊

今回は**テーマ別**に色々な本を紹介しているウェブサイトを紹介いたします。

- ☑ おすすめの本（墨田区立図書館）

<https://www.library.sumida.tokyo.jp/kidsosusume>

こどものページの「おすすめの本」の中に「外へ」や「雨」などのテーマ別にいろいろな絵本が紹介されています。

- ☑ 本をさがす（絵本ナビ）

<http://www.ehonnabi.net/special.asp?n=70>

絵本についての情報が満載のサイトです。その中にテーマ別・年齢別に絵本が紹介してあります。

- ☑ テーマの本（野辺地町立図書館）

<http://noheji-library.net/main/テーマの本・本の展示/>

「鬼がいっぱい」や「ハッピー・ハロウィーン」など行事に関するテーマの本を紹介しています。

今回は絵本を中心にテーマ別ブックリストを作成しているホームページを取り上げてみました。どのサイトも絵本の表紙がきれいに載っていて、ページを見ているだけでも楽しい気分になります。

坂本（子ども読書支援ボランティア）

子ども読書支援センターからの お知らせ

「0歳からの親子で楽しむ

あかちゃんえほん」

好評につき増刷しました！

希望の方に郵送します。

問い合わせ 0480-21-2659



県立図書館ウェブサイト
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」に
PDF版を掲載しています。

県立図書館の司書が選んだ、
おすすめのおはなし絵本
全50冊。楽しい紹介文つき！